

多高通信

第158号 平成30年9月28日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

第29回 多高祭!

■多高祭実行委員長 小泉 和馬

(3年7組 塩竈二中出身)

今年も、多賀城高校三大行事である多高祭が開催されました。一般公開当日は小雨模様にも関わらず多くの方々にお越しいただきました。文化部の発表以外にも、展示や有志での発表が昨年度よりも増え、一人ひとりに楽しんでいただくために、多高生一丸となって取り組みました。

軽音楽部と吹奏楽部が素晴らしい演奏でステージを盛り上げ、多くの方々に体育館に足を運んでいただきました。模擬店やクラス展示でも、各クラス・団体の個性を存分に出したものばかりでした。

この多高祭が無事に開催できたのも、多賀城高校に関わってくださる全ての方々のおかげだと思っています。本当にありがとうございます!



軽音楽部のステージ。全国大会出場の実力を存分に発揮しました!



茶華道部の皆さんは浴衣姿でお点前を披露しました!

模擬店も大盛況でした!



山岳部 インターハイ報告

■阿部 大和(3年7組 小泉中出身)

私たち山岳部は8月2日〜7日に三重県の鈴鹿山系にて行われたインターハイに出場しました。結果は100点満点中96点で、45チーム中21位でした。

当然ながら3年生にとっては今回が部活としては最後の山行になりました。これまで部活が出来たことに感謝しつつ、3年間の最後の山である御在所岳に臨みました。雲もなく本当の意味で天候にも恵まれた良い山行でした。時折稜線を抜ける風も心地よかったです。10年後、三重に行つてツツジの花盛りの時期に改めてこの山々を登りたいと思いました。部活動一覽表を見てなんとなく入部したこの部活で、ここまでこの部活を選んで良かったと思つて引退できると思ひもせませんでした。学校に残つた部活のみならず、大会を運営された皆様、三重県菟野町の皆様、その他関係者の皆様には感謝しありません。

最後に、私は気象分野については前部長に山を歩きながら口頭で教わりました。前部長は壁に貼つてあるポスターの風景写真に写っている背景の雲を見ただけで、その雲の形からそのポスター内のその後の天候を予報していました。自分はそのことに驚くことにはなかつたと思つていましたが、今では何気なく空を見ただけで雲形の記号が頭に浮かびます。雲だけに。(因みに『DENSE PILE』の背景の雲は尾田先生が全て描いているそうですが、あれらは全て『積雲』ということにも気付きました)今は引退したばかりなのでその癖は残っていますが、いつかは雲を見てもなんとも思わなくなる日が来ると考えると怖くなりました。これは県総体の帰り道で一つの積雲を見て決めた事なのですが、将来、雲を見て、ふと雲の名前がよぎり高校時代を懐かしんだら自分の青春は終わったことにしています。ご声援ありがとうございました。

男女アベック出場となりました!!



生徒交流会報告

夏季休業中、他県の高校生との交流会が数多く行われました。

兵庫県高校生交流会

■小野寺さくら(2年1組 しらかし台中出身)

兵庫県の高校生の皆さんとの交流を通してより効果

的な防災教育のためのヒントを得ることができればいいなという思いで、今回の交流会に参加しました。今回行った内容は、多賀城市内の「まち歩き」と、「避難ゲーム」を用いたワークショップでした。「まち歩き」はこれまで何度かメディアに取り上げられていましたが、実際に自分の目でみると被災地の見方が180度変わったところ。感想を頂きました。避難ゲームを用いたワークショップは初の試みで、生徒会も準備に準備を重ね、当日は大きなミスもなくスムーズに進めることができました。



今後このような交流の機会を大切に、経験を糧にさらにより良い交流会を目指して行きたいと思ひます。

東京都立新宿山吹高校防災ワークショップ

■結城 拓斗

(2年7組 鹿島台中出身)

新宿山吹高校の皆さんを「まち歩き」の案内をしました。自分も含め、案内役が原稿の内容をそのまま読んでしまっている人が多く、自分で得た知識にさらに付け加えたり、その場に応じた質疑応答や情報伝達ができたりすれば、より充実した「まち歩き」になったのではないかと思います。



高知県高校生交流

■宇佐美直輝

(2年7組 東仙台中出身)

これまで何度か交流会に参加しましたが、高知県の高校生の皆さんとの交流会は初めてでした。ワークショップを行つていく中で、自分の考えていないような意見が多く出てきて感心しました。南海トラフ地震の津波被害が想定されている地域の方々の防災意識



菖蒲田浜の視察にも行きました

は高く、これまで学んできた自分の考えを合わせることで、新たな視点で知識や防災についての考え方を得ることができました。

SSH生徒研究発表会



8月8日、9日の2日間、神戸国際展示場を会場に全国のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校の生徒による研究発表

会が行われ、災害科学科2年生5名、1年生2名が参加してきました。全国のSSH指定校の代表がポスター発表を行い、日頃の研究成果を披露する場となっております。

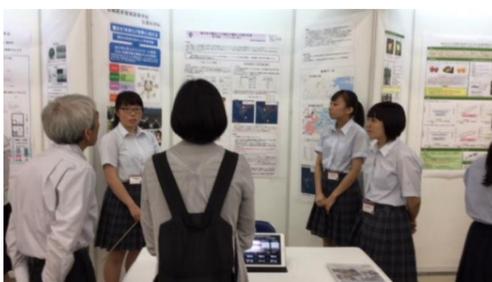
多賀城高校は、東日本大震災による植生の攪乱と生物の応答、浦戸諸島、ハイブリッド松に迫る」というテーマで2年生が発表を行いました。この研究は、災害科学科2年生が昨年の浦戸実習で「マツのハイブリッド」に着目して、マツのハイブリッドの状況から東日本大震災やその後の再開発の環境へ与える影響を考察することを目的としたものです。

会場の規模や参加者・見学者の人数に圧倒された様子でしたが、2日間の発表の中で、発表がみるみる上手くなつていき、自信をもって発表や質疑応答を行いました。見学者が途絶えることもなく、多くの方々に自分たちの研究や復興への思いを伝えることができました。

■藤田 千尋(2年7組 中野中出身)

自分たちが災害科学科の実習を通して研究してきたことが、全国の舞台で発表するようになったことに驚いてると同時に、嬉しくも思っています。東日本大震災や宮城県の復興のことにつながる自分たちの研究内容を全国の多くの人に伝えることができよかつたと思います。

他の学校の発表はともすれば高レベルで、質問も難しいものが多かつたですが、仲間と協力して答えるように頑張つたし、今後の研究にとっても参考となる発表会でした。



本校PTAが全国大会で表彰されました!

8月20日、21日の2日間、第68回全国高等学校PTA連合大会が佐賀県において開催され、表彰式で、本校PTAが全国大会会長表彰(団体)を受けました。全体会の基調講演では、ラジオDJやPTA活動など、多分野で活躍されている「ロモさん」と山本シウさんが、強烈なキャラクターで、現代のPTA談義や昭和から平成への意識の改革について、軽妙かつ熱く分かりやすく語ってくださいました。佐賀県の高校生によるアトラクションでは、吹奏楽やギター演奏、タレントのはなわ氏の歌とトークがあり、その後、各分科会となりました。佐賀大会スローガンである「広めよう 高めよう 慈しむ心」を胸に、全国各地の事例報告や他県の参加者との交流を通して充実した時間を過ごすことができました。今後、生徒たちが笑顔で楽しく意欲的に学校生活が営めるようなPTA活動を目指していきたいと思



帰路の飛行機は「むすび丸ジェット」でした



活動を目指していきたいと思

富山県立砺波工業高校 修学旅行同学校訪問

8月21日、修学旅行の一環で、被災地訪問プログラムとして気仙沼や多賀城を訪問していた富山県立砺波工業高校電子科2年生の生徒の皆さんが、本校を訪れました。ほとんどの生徒は被災地を自分の目で見ることは初めてで、減災アクションカードゲームを使ったワークショップやまち歩きを通して、防災・減災に対する意識を学んでいました。



音楽一特別授業

東京アカデミック ドリームアンサンブル

8月28日、新日本フィルハーモニー交響楽団オポエ奏者の七澤英貴さんが代表を務める東京アカデミックドリームアンサンブルの皆さんをお迎えし、普通科1年生を対象に音楽史の特別授業を行っていただきました。夏休み前までに学習した各時代の曲から馴染みのある曲を選曲して



七澤さんのお話

紹介を含めたソロを披露してくださる場面もあり、音の出る構造についても学ぶことができました。アンコールとして演奏してくださった3曲のジブリ作品も好評で、あっとい間の6分となりました。

成澤 翔馬

(1年2組 八乙女中出身) とても面白い方々で、演奏はもちろん講話も分かりやすかったです。音が澄んでいてとてもきれいな音色でした。作曲家たちの豆知識も色々知ることができ、時代背景も具体的に理解できました。最後に演奏していただいたジブリ作品は、生演奏で聴けることは貴重だと思いました。大変素晴らしい演奏だったと感じました。



西城 和華(1年4組 志津川中出身) 間近で、こんなに素敵な音楽を聴くことができ、とても嬉しく思いました。有名な曲でも知らなかった情報をたくさん教えていただき、表現方法についても目で見て感

じるのができました。弦楽器のアンサンブルとオポエとピアノが美しく融合して感動しました。本日の演奏を参考に、これからの音楽に役立てていきたいです。

第9回震災対策技術展

8月30日、31日の2日間、「震災対策技術展」が

仙台駅前のアエルで行われました。今回で9回目となるこの展示会は、国内の地震・自然災害対策関係者が一堂に会する日本唯一の技術見本市・シンポジウムです。本校は、代表生徒2名による本校の取組の発表およびブース展示を行いました。

山田ころ

(1年1組 塩竈三中出身) 大勢の方の前での発表で緊張しましたが、スムーズに進めることができました。発表後に急ぎよ質問を受ける時間を設けられましたが、その時に思うように答えることができなかつたので、質問に対する対応力をより一層磨き、いつでもどんな質問に対しても堂々と答えられるようにしていきたいと思



Yahoo!基金 夏休み《学生ボランティア》被災地復興支援活動助成プログラム 高知県防災交流活動

9月1日から3日の3日間、生徒会執行部2名がYahoo!基金「夏休み 学生ボランティア」被災地復興支援活動助成プログラム」の支援をいただき、高知県の須崎高校と大方高校の2校を訪問し、防災交流活動を行いました。

須崎高校は、生徒の自主防災組織「防災プロジェクトチーム」を中心に、南海トラフ地震発生の際に

黒潮町役場の方からのお話



起こる大津波に備え、各戸の避難カルテを作成・配布した「オーダーメイド避難」、避難シミュレーションアプリ「逃げトレ」を用いた防災訓練など、積極的に防災活動に取り組んでいる高校です。須崎高校が作成した防災グッズについての説明や、「逃げトレ」を用いた避難を実際に体験させていただきました。

津波避難タワーの内部



大方高校は、平成28年に「世界津波の日」高校生サミットが行われた高知県幡多郡黒潮町にある学校

で、避難所運営ゲームである「HUG」の大方高校版オリジナルHUG」を作成している学校です。大方高校の取り組みに対して、本校生徒が、東日本大震災の被災地になかなか足を運べない大方高校の生徒に代わり、避難所運営に関わった方に聞き取りをし、大方高校の生徒に伝えていくという形でお手伝いをするようになりました。東日本大震災の教訓を全国に伝える伝承活動として、継続して取り組んでいきたいと思

笹 千夏(2年7組 岩切中出身)

今回の高知県防災研修では、私たちが行っていない活動について深く知ることができました。私たちももっとできることがあると気づかされたので、さらに精進していきたいです。

吹奏楽部

マーチング東北大会出場!

部長 日山 爽(3年7組 小泉中出身)

9月21日に開催された全日本マーチングコンテストに参加いたしました。今年で2回目となる参加でした。今年度は、昨年度より難しいドリルに挑戦しました。特に外周には非常に練習時間がかかりました。体育館の部活動の方々や先生方にもご配慮いただき感謝しております。しかしながら、コンクールが終わってからの練習というところで期間が短く、曲のテンポも速いため、完成させられるか不安がありました。最後まで演技を通じた時は、自分たちの中にも感動がありました。

本番は、前日まで試験だったこともあり、特に演奏面では不安がありました。本番直前まで一分一秒を大切に精一杯頑張りました。万全の状態での演奏ではなかったのですが、応援に来てくださった方々の「声援」を

黒潮町を案内していただいた大方高校・大西校長先生



をいただき、無事に演奏演技を終えることができました。大会の結果、10月28日に行われる東北大会に出場できることとなりました。これから約一ヶ月練習を重ねて、全国大会に駒を進められるよう部員一丸となって頑張りたいと思